

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

June / 14 / 2019 # 75

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『チャレンジ！』

[2] Pepeのひとりごと

『英語』

[3] おすすめ動画

『Sonata for Unaccompanied Euphonium by F. L. Clinard. Jr.』

『Serpent - Sonata n°1 Op.20 Michel Corrette (1707-1795)』

[4] 演奏のヒント！

『お気に入りのエチュード Part 2』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『チャレンジ！』

先月、4年ぶりに自分にとっての「チャレンジ」を実行しました。目に見える結果は手に入れることができませんでしたが、想像を超える大切なものを手に入れることができました。 :)

実は、チャレンジは2回やりました。

1回はデンマークのコペンハーゲンで、そして約2週間後にもう1回、今度はスウェーデンのイエーテボリで。

それぞれ、明確な目的、目標を持って全力で挑みました。
だからこそ手に入れることができた貴重な情報、体験の数々だったのだと思うのですが、本当にチャレンジしてよかった、と思っています。

たとえ結果が同じだったとしても、「やる」と「やらない」のとの差は、本当に大きいと思います。

僕は今年で42歳になりました。
この年齢くらいになると、新しいチャレンジをする人はかなり少なくなってきました。

理由？

・・・きっと、大変だからでしょう（笑）。
時間の確保、経済的なことの調整、モチベーションの維持、などなど。

もちろん、すごく大変です（でした）。
でも、終わってみると、今回のチャレンジで僕が手に入れたものは、それらすべての苦労をはるかに超える得難いものだったと僕は自信を持って言えます。

コペンハーゲンでもイェーテボリでも、予期せず友人や友人の友人と会って話すことができたのですが、日本と比べ、海外の人は僕くらいの年齢になってもチャレンジする人がたくさんいるのだなあと改めて思いました。

日本で過ごしていると、どうしても周りの雰囲気、空気に流されて「落ち着く」という感覚が近寄ってくるのですが、これからも極力自分の可能性を信じて、モチベーションを持ち続けてやっていこうと改めて気を引き締めることができました。

これからも、ガツガツと攻めていこうと思います！！

[2] Pepeのひとりごと

『英語』

5月に行ったコペンハーゲンとイェーテボリの2つの街ですが、それぞれ話されている言語は「デンマーク語」と「スウェーデン語」です。

僕はその2つの言語は理解することができません。
でも、全く問題なく過ごすことができました。
それは、街の人みんなが「普通に」英語を理解してくれるからです。

もちろん、みんなが完璧な英語を話すわけではありませんが、少々言い方が違っていても、通じればいいんです（笑）。

これ、本当にいいことだなあ、と思うとともに、オリンピックを来年に控えた日本も見習わないといけないことなのでは？と思いました。

現実的に、生活環境や、学校でも学習環境が全く違うので、2020年の大会へ向けて同じような環境になるとは思えませんが、個人個人で少しずつでも本当に便利な世の中にしていけばいいのでは？と思いました。

英語を得意としないみなさん。

上手に話せる必要はないし、すべてを理解しないといけないということはありません。

僕も、よくわかっていないことなんて本当にたくさんあるんですよ。大切なことは聞き返してわかりやすく話してもらったりして理解しますし、日常会話のどうでもいいようなことは聞き流すことだってあります。

でも、「英語で話し慣れる」ことはとても重要だと感じました。海外の映画を字幕で観ることだけでも、その言語が耳に入ってくる機会を作るいいきっかけだと思います。

いざ！というときのため、ぜひ今から少しずつ英語を耳にする機会を増やしてみましょう。

必ず、自分の世界が広がっていきますよ。：)

[3] おすすめ動画

『Sonata for Unaccompanied Euphonium by F. L. Clinard. Jr.』
https://youtu.be/Zszjh8u_Gb0

今月の1つ目の動画は、久しぶりに自分で撮った動画です（笑）。曲は、Solo Euphoniumのために書かれたSonataです（無伴奏）。作曲家は、F.L.Clinard Jr.。一昔前（もう二昔前なのかな？笑）は、よくコンクールの課題にもなっていた、Euphoniumの無伴奏の曲の定番でした。

この曲、YouTubeの中に動画がない、という話を聞いていて、少し前から自分でやってみようと思っていたです。：)
そして、先日撮ってみました！

久しぶりにさらってみると、この曲の面白さがまた昔に比べるとよくわかったりして、かなり楽しめました！
お楽しみください。そして、興味があればぜひチャレンジしてみてください

くださいね！ ;)

『Serpent - Sonata n°1 Op.20 Michel Corrette (1707-1795)』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=t9mB72TC8Kw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=0s)

[v=t9mB72TC8Kw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=t9mB72TC8Kw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=0s)

2つ目の動画は、Serpentの演奏の動画です。

Serpentを演奏しているのは、Patrick Wibart氏。とてもコントロールされた、繊細な演奏です。 ;)

最近はこの古楽器のスペシャリストも世界中にたくさん出てきて、
こうして動画をアップしてくれているので、バロック音楽を勉強するのに
とてもいい材料になりますね！
便利な世の中になりました。 ;)

[4] 演奏のヒント！

『お気に入りのエチュード Part 2』

今回も前回に引き続いて、僕のお気に入りのエチュードを紹介しよう
と思います。

今月はこれ。

「25 Studies in Scales and Chords(Milde)」

たしか、いくつかの出版社から出版されていると思います。
ちなみに僕の持っている（使っている）ものは、International出版
のものです。

これは、元々ファゴットのためのエチュードで、最近は知りませんが、
一昔前はよくEuphonium奏者はやっていたと思います。

僕自身も、このエチュードを高校生か高校を卒業した頃に知り、それ以来、
たまに出してきてはやっています。

このエチュードは音域が広く、その広い音域の中での上下の移動がたくさん
あるので、いい練習になりますよ。
それと、いろいろな調性のものをできるので、苦手意識の克服にも役立つと
思います。

僕は、長年このエチュードはEuphoniumでやるものと自分で勝手に
決めていてEuphoniumでしかやっていませんでしたが（理由はそれなりに
ちゃんとあるんですよ）、最近、初めてTromboneでもやってみました。

いやあ、難しい（大変）し、やりがいがあります！！ :D
僕がどうしてTromboneでこのエチュードをやっていなかったかというと、低いH（「シ」のナチュラル）が出てくるからです。
この音は、ロータリーが一つしかないTromboneで吹くことは論理的にはムリで、フェイク（ある種の強制倍音）で吹くしかありません（F管のスライドをすごく抜くと出ますが、それだと他の音を演奏するときに大変になってしまいます）。

今回、フェイクで吹く練習も兼ねて（笑）やってみたのですが、いやあ、これもまたいい練習（トレーニング）になります！！
音域（特に低音域）を広げたい人、またチャレンジ精神の旺盛な人は、ぜひやってみてくださいね！ ;)

編集後記

5月は、僕の好きな北欧の国へ2回行くことができました。
もちろん、チャレンジのために全力で準備をしてぶつかっていったのですが、その街に滞在することによってのリラックス効果も、抜群でした。 :D

少し肌寒い感じでしたが、とってもいい天気恵まれて、最高の時間を過ごすことができましたよ。

居心地のいいところに住むことって、とても重要なんだなあ、と改めて感じました。

さあ、僕はまた新たな目標へ向かって走り始めています！！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>